

今年度予算の特徴

平成18年度当初予算は骨格予算としており、義務的経費、継続事業、合併協定内容に配慮した事業、緊急性のある事業などで構成されています。

歳入については、国の三位一体改革による国庫補助負担金の減少、県の行財政改革の影響などが大きく影響し、一段と厳しい状況にあります。

歳出については、一宮小学校増築事業、勝北中学校建設事業、給食センター建設事業などのハード事業が増加しています。加えて、企業誘致に伴う企業立地促進奨励金、物流施設誘致助成金などのソフト事業の増、扶助費などの社会保障関係費の自然増、さらに特別会計への繰出金などが大きく増えています。

このような状況により、大きな財源不足を生じるため、市の貯金に相当する財政調整基金から11億円、減債基金から4億円を取り崩して財源を確保しています。

2020
問い合わせ先 財政課 32

健やかな生活を支援

- 児童手当費(対象を小学校終了前まで拡大) 8億2,689万円
- 乳幼児医療費(対象を小学校就学前まで拡大) 2億9,837万円
- 老人保健ヘルス事業(各種ガン検診など) 2億6,992万円



地域の歴史資産を大切に保存

- 史跡美作国分寺跡公有化事業 3,891万円
- 史跡津山城跡保存事業 1,266万円
- 指定文化財保存事業 181万円



ごみの処理

- 焼却灰搬出処理委託料 1億3,506万円
- 家庭ごみ指定袋制実施事業 5,630万円
- ごみ減量・リサイクル推進事業 4,570万円
- 廃プラスチック処分委託料 2,695万円

地域の交通網の維持に

- 地方バス路線運行維持費補助金 4,470万円
- 支所間バス運行補助金 3,000万円
- ごんごバス運行補助金 790万円
- 市営阿波バス運行業務委託料 716万円
- 津山・西川線共同バス運行委託料 456万円
- 津山・富線共同バス運行委託料 52万円

産業の活性化を

- 企業立地促進奨励金 1億7,680万円
- 物流施設誘致促進助成金 4,339万円
- 津山市オンリーワン企業育成支援事業補助金 133万円

みんなの事業に使われます

一般会計以外の予算の状況

特別会計合計	367億7,411万円
財産区会計	1,050万円
水道事業会計	62億8,629万円
工業用水道事業会計	8,593万円

磯野計記念奨学金	168万円
食肉処理センター	2億1,379万円
国民健康保険	94億4,733万円
公共用地取得事業	2億7,699万円
下水道事業	62億5,423万円
農業集落排水事業	3億6,992万円
老人保健	121億 865万円
全本明正奨学金	1,362万円
介護保険	74億8,840万円
簡易水道事業	5億9,113万円
土地取得造成事業	836万円